

○ 有松まちづくりの会

①総会時の記念講演決まる（5月10日）

講師は名古屋市博物館の調査研究員の山本祐子氏で、「猿猴庵の本」シリーズの編集・刊行に長年携わっておられます。現在、尾張から江戸までの道中図会に取り組んでいます。

演題は「東海道のにぎわい」で、絞会館の2F大会議室で14:30から開かれます。入場無料

②まちなみ研修 実施（4月5日）

今年は『国宝彦根城、重伝建選定の河原町・芹町を訪ねて』と題して実施されました。

最初に、昨年の有松と同日に重伝建の選定を受けた河原町・芹町地区を訪れました。ゆるやかにS字を描く幅二間程度の往還に沿った約780メートルの商家が並ぶ町並みです。切妻造、瓦葺、虫籠窓を備える伝統的な町家が建ち並び、袖うだつを設ける家屋も多く見られました。空き家が散見され、今後のまちづくりが期待されます。



町並み見学風景

その後は、初代藩主井伊直政（女城主直虎の許婚の子）の居城国宝「彦根城」を見学し、長浜市にある北国街道沿いの「黒壁スクエア」を訪ね、琵琶湖産品・硝子製品等お土産を片手に帰りのバスに乗り込みました。

帰りの車内は伊東葉子さんの軽妙な語り口でクイズが行われ、大いに盛り上がりました。

③伝建地区の補修補助と減免について

有松の町並みが国の宝として位置づけられたのに合わせ、補修補助と税の減免が下記の通り決まりました。なお、詳細については「歴史まちづくり推進室」にお問い合わせください。

○建造物補修の補助

建物の種類	補助金		補助対象
伝統的建造物	補助率	80%	修理基準に基づいて、外観の現状維持・復元やそれにとまなう構造補強に要する費用
	限度額	1500万円	
それ以外の建造物	補助率	70%	修景基準に基づいて、外観の整備に要する費用
	限度額	700万円	

○税の減免

建物の種類		相続税(国税)	固定資産税・都市計画税(市税)
伝統的建造物	建物	財産評価額の30%を控除	非課税
	土地	財産評価額の30%を控除	税額の50%を軽減
それ以外の建造物	建物	—	—
	土地	—	税額の20%を軽減

④ありまつ公園の記念植樹「桜」根付く

重伝建選定祝賀記念事業の一つとして、昨年11月19日にありまつ公園に植樹された二本の桜（ソメイヨシノ）が、心配されたが無事根付き、枝を伸ばし、葉を繁らせてくれました。数年先には花見が出来そうで、楽しみです。

⑤全国町並みゼミ 有松事務局リーダー

阿知葉征彦氏（現重伝建推進委員長）に決まる。



根付き、芽吹いた桜

○ 有松桶狭間観光振興協議会（4月25日）

①今年度の有松・桶狭間観光事業について（観光推進室）

- ・ 昨年の実績を踏まえ、課題の改善
- ・ 重伝建選定をきっかけとした観光案内機能の強化
- ・ 観光事業の継続を見据えたNPO設立の勉強会開始
- ・ 信長攻路による観光PRの強化

○ 桶狭間古戦場保存会 総会開催（4月9日）

保存会発足後、記念となる第10回の総会が桶狭間公民館で開催されました。総会には、国会議員・県議員・市議員、新緑区長馬淵幸男氏はじめ行政関係者、地域諸団体代表者の方々の多数の出席がありました。

梶野泉会長は「一昨年来訪者を10万人にしたいと話しましたが、去年は4万人となり、さらに今年は大河ドラマ「おんな城主 直虎」の効果もあり、大幅な増になっています。また、市が進める『信長攻路』（人生大逆転街道）に協力し、桶狭間を盛り上げたい。一方、桶狭間の歴史を語り継ぐべく、桶狭間小学校・南陵小学校・桶狭間幼稚園の児童・園児に桶狭間の歴史等の学習を行っています」と話されました。

記念講演は「織田信長を語る」と題して、歴史ライターの水野誠志朗氏のお話でした。



人生大逆転街道

○ 29年度 ミス絞り・有松福男 決まる（4月22日）

今年の絞りまつりは、『What's 重伝建』をテーマに地場産業の振興、活力ある地域の形成、魅力ある有松の創造を目標に開催されます。まつりに華を添えるミス絞りの募集は、1月中旬から3月下旬で52名の応募がありました。4月1日の書類選考で15名選出され、4月16日の本選考で、和田悠里さん、高須美怜さんが選ばれました。一方、有松福男は、緑区内の銀行員からの応募の中から、渡辺公貴さんと片岡直之さんが選ばれました。4名とも以前有松に関わり、魅せられ応募し、選ばれた事を光栄に感じ、有松絞りを大いにPRしたいと話していました。



今年のミス絞りと有松福男

○ 有松福よせ雛反省会開催（4月19日）

第2回「春の有松福よせ雛さんぽ道」は2月25日から3月26日の期間に実施され、展示方法を変えたり、体験コーナーを作ったこと、NHKなどマスコミが取り上げてくれたこと等が功を奏して、昨年を大きく上回る人出で有松東海道は連日賑わいをみせました。屋根の上や桜の枝の上でポーズをとる福よせ雛には誰もが注目し、シャッターを切る姿が多く見られました。

この行事を続けて実施することで、冬場の来客数増加に繋げていきたいと実行委員による反省会が、庄九郎カフェで行われました。その中で来年に向けての構想として、なりきり福よせ雛の衣装や、写真映えするグッズの製作など有意義な意見が出されました。



カメラを持つ福よせ雛

○ 「動画で有松をPR！」（有松あないびとの会）

○ 「名古屋市緑区あっちこっちいいところ」

歴史の宝庫、緑区の魅力をインターネット動画で伝えようと、有松あないびとの会を始め大高、桶狭間、鳴海の町並み案内担当者がスタジオ収録を行い、わが地区のいいところを紹介しています。

動画を見るには、

「緑区あっちこっちいいところ」入力・検索→「キミステーション」→動画を再生

○ 「サトウタリレー緑区」

可愛い緑区のマスコット・みどりっちと共に緑区観光推進協議会作成の歌詞にのせて元気に緑区の見どころを紹介しています。

動画は、歴史と文化の緑区～♪から始まる緑区を紹介する楽しい歌に合わせ、鳴海宿、大高、桶狭間、有松に徳重を加えた緑区の見どころが歌に合わせてご覧になれます。

「サトウタリレー緑区」入力・検索→「サトウタリレー緑区-YouTube」→動画



有松をPR中

○ 磯丸歌碑の前で詩吟（4月16日）

「唐子車道」脇にある糟谷磯丸の歌碑の前で、吟詠が行われました。吟行会を行ったのは新大阪岳風会。バス2台を連ねてお越しになり、「そめそめて あけも美とりも 有松の 里の栄は 色にても知れ」と合吟されました。その後、15名ほどのグループに分かれ、有松あないびとの会の案内で町並みを散策。特に西町では、広重の東海道五十三次の浮世絵にあうような風景に歓声を上げていました。

なお、磯丸銅像（幕山在住の彫刻家工藤潔氏製作）が伊良湖岬に建てられています。



○ 山田峯夫氏 歌集「四葩の藍」(よひらのあい)を発行

P-4

生山在住の山田峯夫氏(絞り商 山盛の先代社長、当会参与)が米寿を記念して、平成二十年よりの歌のなかから三百余首を選び、各抄に分け纏められたもので、山田氏にとっては、第二歌集となります。

なお、第一歌集は、『藍より青し』で、十年前に発行されています。また、会報「有松」にも寄稿して頂いています。

○ 観光案内処のイベント

(西: 090-5005-9042)

(東: 090-5005-6837)

- ・5月05日(祝) 10:30、13:00 こどもの日 甲冑体験(東)
" 13:00、15:00 ルックバックトート作り(西)
- ・5月20日(土) 10:00 絞りの浴衣 着付け体験(西)
" 13:30 有松あないびとの案内による有松まち歩き(西)
- ・5月21日(日) 10:30 有松あないびとの案内による有松まち歩き(西)

○ 催事・行事の予定

- ・5月07日(日) 09:00 有松東海道青空市 商工会周り 商工会
" 「有松絞り探訪Vol. 3」有松絞りモノづくり探訪・グルメ探訪
- ・5月10日(水) 13:30 有松まちづくりの会 総会 絞会館
" 14:30 記念講演「東海道のにぎわい」 講師: 山本祐子氏
- ・5月14日(日) 10:00 桶狭間古戦場まつり
- ・5月15日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・5月21日(日) 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
" 09:00 有松東海道青空市 商工会周り 商工会
" 午前 町美運動
- ・5月22日(月) 18:00 重伝建推進委員会 コミセン
" 19:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- ・5月23日(火) 14:00 全国町並みゼミ 第3回幹事会 コミセン
" 18:00 有松桶狭間観光振興協議会 役員会 絞会館
- ・5月28日(日) 13:00 桶狭間シンポジウム 講師 小和田哲男氏 桜花学園5号館大講義室
- ・6月03日(土) 09:00 第33回 有松絞りまつり 有松東海道一帯
- ・6月04日(日)

発行者: 竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 副会長)

編集者: 加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

: 有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索